



特定非営利活動法人
神奈川県環境学習リーダー会
会報 No. 59 2007年
 10月 11月

目次

役員会報告..... 1
 本年度の新入会者紹介..... 2
 平成 20 年度 理事候補募集... 2
 急募！「かながわコミュニティ
 カレッジ」- 環境ボランティ
 ア養成講座..... 3
 課題検討委員会答申に対する
 中間報告会開催..... 3
 環境活動人材育成講座「環境学
 習指導コース」5 日目のワー

クショップを実施して..... 4
 アジェンダの日 2007 に出展参
 加..... 5
 『環境教育』玉川学園環境部
 (町田市)のレポート..... 5
 部会報告
 エネルギー部会..... 6
 ケナフ部会..... 6
 大気環境部会..... 7
 水環境部会..... 8
 自然環境部会..... 8
 グリーン部会..... 9

会員の広場
 「太陽と遊ぼう！」報告と「市
 民共同おひさま発電所」紹介
 10
 リレー登場
 環境の研究について..... 11
 中小企業の環境マネジメン
 トシステム..... 11
 掲示板..... 12
 編集後記..... 12



役員会報告

(事務局役員 土屋 俊幸)

10月役員会 (10月11日)

会員数は正会員 112 人、賛助会員 27 人、特別会員 6 人、合計 145 人 (9月30日現在)。意思表示をしていない会費未納者については名簿管理担当の荒谷理事が意志確認をする。

審議事項

1. 名簿管理について
 - ・名簿の会員への開示について、会員の中には開示を希望する者もいるが、個人情報保護の課題もあり、各会員に開示する事の可否を意思表示してもらう等の検討が必要である。
2. 役員会と理事会について
 - ・理事会は、必要に応じ K・リーダー会代表または理事の要請により開催し、毎月開催する理事の集まりは、役員会とする。
3. かながわ県民活動サポートセンターの会議室予約について
 - ・予約漏れ、キャンセル忘れを防ぐため、予約を吉田代表、荒谷理事に、定期的なチェックを荒谷理事が実施する。
4. アジェンダの日 2007 (10月20日、21日)の役割分担を決定
 - ・各部会の出展 (実演及びパネル) の確認や集合時間等の確認を行った。
5. KERC 主催の環境活動人材育成講座「環境学習指導コース」での入会案内の実施について

- ・10月27日の第5回目の講座終了後、K・リーダー会の入会案内を行う。
- 6. 市民活動報告会について
- ・2月17日に開催される市民環境活動報告会の発表者応募要項を K・リーダー会の HP に掲載する。
- 7. K・リーダー会内規及び種々の規定について
- ・9月13日付けの課題検討委員会の答申にも応えて、リーダー会の内規及び規定案 (13件) を作成し概要を審議した。
- 8. 会報企画案について
 - ・鎌田広報部長作成の会報 59 号企画案について討議を実施した。
- 9. コミカレ実行体制について
 - ・講座の全体を管理する担当が求められる。各々の講座は講師だけでなく、手助けが必要なため、人材・要員を集める必要もある。有償の講座であり、方針や講師の意識統一を図り、また配布資料の様式、ロゴの表示等を統一する必要もある。早急には、外部講師への依頼文作成があり安藤理事が原稿案を作成する。内田理事が注意するポイントを整理する。

11月役員会 (11月8日)

会員数は正会員 113 人、賛助会員 29 人、特別会員 6 人、合計 148 人 (10月31日現在)。10月27日開催の『環境学習指導コース』5日目終了後における新規入会者は7名 (第15期生) の入会 (11月24日現在) があった。(当日は台風接近の荒天で受講者も少ない日だった上に、さらに講座の最終日で

はない途中でのオリエンテーションという事情もあったためか例年より少ない)

審議事項

1. 内規検討結果に関して

- ・「部長は役員(理事)であること」の文言に関しては、但し書きとして、(理事会が認めた場合はこの限りではない)の形で各部会の意向を柔軟に受けとめていく方向であって行く。
- ・「退会届」の取り扱い、メール・ハガキ等による確認の体裁をとることを主とする。

2. 『課題検討委員会』答申の取り扱い

答申に対する役員会の見解・実現の可否並びに時期に関して、検討会に対し誠意を持って回答して行く事とする。平成20年1月役員会後に中間報告会を開催する予定である。

謝金・日当に関してはさらに検討を継続する。
(情報の収集)

3. 次年度役員に関する事項

- ・今年度は例年(2月)より早く12月に役員募集の広報を実施し、2月には選考委員会が役員(案)を作成していく。

4. K・リーダー会のHPに関する事項

- ・当初立ち上げ作成者から広報部への管理者引渡し(移譲)を進めつつ、新たなURL取得の選択肢も模索していく。

5. コミカレ実行体制について

- ・外部講師の方々に対する講座関連の確認と徹底作業の総括管理者は猪股副代表とする。
- ・受講者の応募状況は代表が県に確認し、役員・会員に対し連絡して頂く。
- ・運営に当たり、内田理事より注意事項等の説明があった。

本年度の新入会者紹介

理事 荒谷 輝正

環境科学センターで開催されました環境学習実践講座が11月3日に終了し、我々の仲間になんとして新しく15期生として7名の方が入会されました。今年度は神奈川県環境学習リーダー会がNPOとして発足した記念すべき年に、お迎えできる事が出来て大変喜ばしい限りです。今後各々の部門でご活躍して頂きたいと思っております。

ご紹介(順不同・敬称略)

名前	所属	住所
田辺 彰	水環境部会	平塚市
森脇 清	大気環境部会	横浜市
深沢 篤子	水環境部会	川崎市
山田 淳	グリーン部会 廃棄物GO3部会 エネルギー部会	横浜市
横井 大樹	水環境部会 大気環境部会	横浜市
門間 光次	水環境部会	相模原市
村上 朝鼓	エネルギー部会	逗子市

平成20年度 理事候補募集

代表理事 吉田 榮一

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会 平成20年度理事の立候補(自薦・推薦)を受け付けます。

平成20年度・当リーダー会総会を5月に開催します(詳細は次々号に掲載)。この総会で、新理事を選出し、新旧理事の交替をいたします。そこで、前もって皆様からの新理事の立候補または推薦候補を受け付けます。

本年度当リーダー会はNPO法人格を取得し、平成20年度ではNPO法人として本格的な活動に入る

ことから、皆様の英知をさらに結集していただく年になります。是非、自らその担い手として、お手を上げてくださいますよう、または相応しい方の推薦を郵送、EメールまたはFAXでお願いします。

申し出締め切り 平成20年1月21日(月)

連絡先 : 代表理事 吉田 榮一

〒233-0012 横浜市港南区上永谷3-7-2

E-mail : ey-yoshida@c3-net.ne.jp

FAX : 045-844-9622

急募！「かながわコミュニティカレッジ」 - 環境ボランティア養成講座

理事 内田 重美

会報第 58 号でもご紹介した様に、当会が神奈川県より「かながわコミュニティカレッジ」の環境ボランティア養成講座の実施委託を受けました。本講座の申し込み締め切りは 1 月 4 日（金）まで延長となりました。是非皆様のお知り合いや仲間にご紹介していただいて、受講者を募って頂くようお願いいたします。神奈川県が地域課題の解決や、地域活性化に取り組む人材の育成を図るための、県民の新たな学びの場として実施するものです。神奈川県 の 便り 11 月号と、次のホームページに詳細が載っています。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kenminsomu/komikare/kankyouborakouza.html>

また各地域県政情報コーナー等でも募集要項が配布されています。概要は次の通りです。

講座実施期間：平成 20 年 1 月 15 日(火曜日)～ 3 月 25 日(火曜日)、全 11 回(18 コマ)

上記とあわせて、神奈川県環境科学センターと市民団体との共催の「市民環境活動報告会」(2 月 17 日)への参加も可能。(自由参加)

受講対象者：県内に在住、在勤、在学の方、県内で活動する団体(団体の職員等が、講義内容によって交替で受講することが可能です。)

受講定員：30 人

募集期間終了後、受講の可否について知らせがあります。

申込者が定員を上回った場合には、抽選により受講者を決定します。

受講場所：横浜市神奈川区鶴屋町 2 - 24 - 2、「かながわ県民センター」 11 階、かながわコミュニティカレッジ講義室(協働・交流スペース 1)

*一部の日程において、体験実習により受講場所が変わります。

受講料：12,600 円

受講申込方法：受講の申込みについては、募集期間内に住所・氏名(団体での受講を希望する場合は、団体名と代表者名)・電話番号及び受講希望講座名を、次の受講申込先まで、電話、FAX または申込専用フォームのいずれかの方法でお申し込みください。

受講申込先：神奈川県県民部県民総務課 NPO 協働推進室宛

(かながわコミュニティカレッジ事務局)

〒231-8588 横浜市中区日本大通 1 電話 045(210)3627、 FAX 045(210)8831

課題検討委員会答申に対する 中間報告会開催

代表理事 吉田 榮一

特定非営利活動法人 神奈川県環境学習リーダー会に移行する際に多くの課題について課題検討委員会(委員長 安丸元一様)が中心になって検討してください、9 月 13 日にその答申を提出していただきました。役員会・理事会においてもこの答申内容を含めていろいろと課題について検討してまいりました。そこで、これら課題に対する検討状況を報告し、また未解決な課題への対応に対する具体的な方策を検討していただき、実施へ向けてのご協力を

お願いする中間報告会を下記のように開催することになりました。

会員の皆様には万障お繰り合わせの上、ご出席下さいますようお願いいたします。

日時：平成 20 年 1 月 10 日(木) 16:00～17:30

場所：かながわ県民センター 709 号室

議題：(1) 課題検討状況報告

(2) 未解決課題への具体的対応策と実施体制

(3) 追加課題

(4) その他



環境活動人材育成講座「環境学習指導コース」5日目のワークショップを実施して

代表理事 吉田 榮一

本年度より新しく開設された神奈川県環境科学センター主催の環境活動人材育成講座「環境学習指導コース」5日目のワークショップを実施しましたので、その報告をします。

この「環境学習指導コース」は9月29日から11月3日まで毎週土曜日6回にわたって開催されました。この講座の5日目の午後にこのワークショップを実施しました。

今回のワークショップではこの講座の担当責任者である神奈川県環境科学センターの田中様のご意向に沿って、環境学習講座の企画づくりのためにワークショップを通じて、楽しく学べる環境学習の組み立て方のノウハウやアイデアを出し合っただけでなく、企画をまとめる。また、その企画を発表して、お互いに意見交換して、それぞれの成果を共有することを目的としました。ワークショップの手法や進め方などの基礎や基本的なこと、理論的なことは次の週開催の6日目講座でワークショップの専門家の(株)生態計画研究所所長の小河原孝生様が実施されますので、このような点にはふれませんでした。

今回のワークショップではまず企画の例として、本年度の神奈川県環境科学センター主催のかながわサイエンスサマー「子ども環境体験教室」で当リーダー会が担当した企画と横浜市港南区民を対象とした生涯学習講座の内容とねらい、特徴などを募集のチラシを含めて紹介し、プログラムの企画の流れを体験することで、一人ひとりが実際の地域で環境活動を行う場合の体験実践講座としました。このワークショップでは4グループ各6名で行ない、特にテーマ、対象、実施方法については限定せずにグループで話し合っただけでなく、決めることにしました。

その結果、各グループで決めたテーマ・キャッチコピー・サブタイトルなどは以下の通りです。(発表順)

- (1)君もなろう! ムシキング ~水辺編~ (対象:小学校4年生以上の親子、3回講座)
- (2)隊員募集!! (自然環境守ルンジャー) ~親子で知ろう地元の自然~ (対象:小学校3~5年生の親子、夏と冬の2回講座)
- (3)カレーから考えよう!! ~環境のことを~ (対象:小学校4、5年生 5回講座)

(4)カレーの玉手箱 ~カレーづくりから環境を考える~ (対象:小学校高学年 5回講座)

短時間のワークショップではありましたがいずれも素晴らしい、充実した企画を立案して下さいました。講座の対象者が小学生4~6年生かその親子であったことも印象的でした。実施後の皆様の感想の概略は以下の通りです。(田中様より受け取ったもの)

- ・実際にやってみることで難しさがよく分かった。各人の関心テーマが違うので、短時間での作業は困難を極めた。但し、まとめる中でいろいろな人の貴重な意見を聞いたことは、今後の活動に有意義であった。
- ・初級者がつかむのには分かりやすい。グループが一つになって取り組めた。
- ・皆さんの意見をまとめて発表するのが難しく、短いと感じましたが、楽しくできました。
- ・実際にワークショップをやると言うことだったが、テーマが特定されていなくて、周りの人がどんなことに興味があるか分からなかったので時間的に少し厳しかった。しかし最終的には良い経験になったと思う。
- ・いろんな参加者の意見を聞くことが出来て面白かったです。また、意見をまとめる難しさも感じました。

今回のワークショップが受講者の皆様の今後の活動に役立てば大変ありがたいです。また、今回の企画が企画されたグループで、または受講生の方々に実際に実施されたと願っております。

最後になりましたがこのワークショップにいろいろと企画・アドバイスして下さいました田中様に厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



アジェンダの日2007に出展参加

副代表 猪股 満智子

10月20(土)、21(日)、第2次県環境基本計画(アジェンダ)の普及啓発を目的に始まった同展が、昨年に続いて横浜産貿ホールで開催されました。

例年よりも開催実施の呼びかけが遅くあったこと、今回は会場にフリーマーケットを入れ込むためブーススペースに余裕がないこと、さらにNPO法人格取得後の繁忙などもあり、2回に亘り制作、展示した「県下9ブロック別環境の実情と課題」のパネル制作は断念し、代わりに大気、水、自然環境部会制作の最新環境データパネルと地球温暖化の警鐘を壁面に飾り、中央部分を体験コーナーとしました。また幸運にも開催直前になって、主催の県環境計画課より「クイズでスタンプラリー」の出題ポイント1番目のブースに、という要請に授かれ、慌ててクイズ原案を用意しました。

さて本番。秋日和に恵まれた両日となり、出足も昨年を超えて好調とか。西寿子さんに提供いただいたお馴染み「風呂敷で素敵な包み方」のデモンストラーションは1日目を長村吉洋さんが担ってくださり、またNPO法人アースエコ提供の「3つの電灯の消費電力(=CO₂濃度)くらべ」キットを利用させてもらったクイズスタンプラリーは当会の設問が一番難しいにもかかわらず、当番の熱心なサポートもあって「よくできました」のハナマル賞の乱発。家族連

れには、「よい勉強になりました」と、好評でした。

2日目には、環境省による地球温暖化対策事業「一村一品・知恵の環づくり」の委託受注先、地球温暖化防止活動推進センター主催で、各地域から出品された21品の品評(公開プレゼンテーション選考)会が別会場で華を添えました。

私にとってはこの展示会については初めての経験でしたが、2日間を通してみると、参加料を払っての出展ということもあり、NPO法人格をもつ環境団体や環境関連企業、大学の環境ゼミグループなどの出展が多い、客寄せ目的に室内ブースの1/4がフリーマーケットになったわりに来場者は足を向けなかった。つまり来場者は環境のほうに関心を向けた、出展者も情報交換や交流、展示内容のスキルアップ等々、得られるものは少なくない、と感じました。

会場にお越しくださいました会員の皆様や、思いがけず飛び入り当番をしてくださった方々、本当にうれしく役員一同、紙面をお借りしお礼申し上げます。



『環境教育』玉川学園環境部(町田市)のレポート

地域支援サポート部 熱海 宗信

11月初、玉川学園文化祭の折、『第8回環境フォーラム』が開催されました。今年のテーマは、「企業・団体の社会的責任と環境活動」というものでした。主催は玉川学園環境部/玉川大学工学部マネジメントサイエンス学科です。

日程は11月3日(土)/4日(日) 10時~16時
内容

学園生報告：学園中等部発表「生命に最も身近な題材-水」(個人)

：学園高等部発表「学園の環境教育」の諸相(5プロジェクト別)

団体・企業・法人発表：「財団法人-製品安全協会」

- ：「町田市清掃事業部」
- ：「パナホーム(株)」
- ：「三菱自動車工業(株)」
- ：「(株)コーサー」
- ：「キリンホールディング(株)」
- ：「東京ガス(株)」
- ：「東京電力(株)」

文化祭・学園祭におけるCampus内の環境対策の取り組みは、大部分が食品トレイをどうした、お箸をどうする、ゴミ分別・回収システムをどうするの類が圧倒的だと思います。(善し悪しを申上げているわけではありませんので悪しからず)

又、教育機関における環境の取り組みは、入れ物としてのISO・・・とか、自然エネルギー絡みの機器(風車・太陽光パネル等)の設置導入や、任意の個別限定的なサークル活動などで留まっている事が多いことも現実ではないでしょうか。

当学園は2000年9月に『環境方針』4項を設定し、職員、在籍の児童・生徒・学生に周知徹底・活動しつつ外部にも公表していくというもので、その一環としてのフォーラム開催の位置づけになっています。『環境方針』が学園運営(学園環境部)の重要な柱の一つに明確に位置づけられて進めて来ていることが感じられます。

部会活動

エネルギー部会

部会長 安藤 紘史

活動予定(‘07年12月～‘08年1月)

定例部会(於:県民サポートセンター)

12月12日(水) 15:30～17:50 602号室

1月9日(水) 15:30～17:50 601号室

2月13日(水) 15:30～17:50 602号室

見学会(横浜市風力発電&横浜火力発電所)

11月29日(見学枠の都合で少人数で実施)

横浜子ども科学館の環境教室

実施日:来年2月9日(土)午後。

活動報告(‘07年10月～11月)

10月度定例会:

10月10日(水)16:00～18:00

場所:県民サポートセンター 702号室

参加者:岩沢、小田、鎌田、長澤、藤木、二村、横山、安藤

K・リーダー会のNPO化、設立会等報告。

身近な実験について実演と情報交換

・10円と1円玉電池の作り方

・脱臭剤とアルミホイル電池の作り方

・簡易モーターの作り方

情報交換

~~~~~

### ケナフ部会

ケナフ部会長 荒谷 輝正

ケナフ部会員が携さわった2007年10月～11月までの活動及び12月～2008年1月の予定について報告します。

1.ケナフ部会定例会

・11月4日 ケナフ部会例会 ケナフの刈り取りを実施する。今年で9年間同じ畑でケナフを栽培したが、毎年気象条件が異なるので多少の成長の差

今や日本の大気環境を見て行く時、中国のそれを度外視出来ない位置関係にあります。(ことは実に深刻な事態を招来し直面しています)

学園高等部発表の中に「人が環境を作り、環境が人を育てる」のフレーズに接しました。今秋、この言葉に玉川学園の環境教育が進化し続けているものを私は感じた次第です。

環境面から見たオール電化の問題点について、レポートと意見交換を行った。電気温水器の問題点、深夜電力料金制度の問題点等クローズアップされた。

アジェンダの日

10月20日、21日

K・リーダー会の一員として参加。

「蛍光灯と白熱電球の消費電力比較」実験を行った。これがスタンプラリーの出題として取り上げられた為に、来場者も多く啓発効果も大きかった。

11月度定例会:

11月14日(水)16:00～17:30

場所:県民サポートセンター 601号室

参加者:岩沢、小田、児玉、藤木、二村、安藤  
山田淳さん入会報告

上期予算の使用状況報告と下期予算検討

横浜子ども科学館環境教室(2月9日)講師検討

情報交換

A会員宅の省エネナビを利用した電力削減効果について報告。1年間の削減効果609KWH(13.8%)。家族揃っての省エネを行うには良い動機付けとなり、予想以上の効果であった。

簡易型二酸化炭素濃度測定器を初使用。

出前授業での効果的活用方法を検討。

があるが、連作障害は無いようだ。今年もタイケナフは種が採れず、青皮3号がこの地では適しているようだ。

・11月10日に横浜子ども科学館で開催する「古紙を使った写真立てを作ろう」の作業、参加者等の打合せ





ケナフの刈り取り風景

## 2. 対外活動

- ・11月10日 横浜こども科学館「カッター、のこぎりを使って写真立てを作ろう」開催  
古澤、小川、鈴木、荒谷が講師として参加、吉田代表もお手伝い頂いた。  
環境学習リーダー会がNPO取得後の初めての受注であり十分に準備して望んだが、参加人数が7名で、殆どマンツーマンの状態であった。参加した子供のアンケートでは、少し難しかったが楽しかったということである。子供達にとって図面を見ながら作業をする経験は初めてだったので感ったのだろう。



写真立て講座風景

- ・11月11日 第21回ふるさと・のぼ「福祉のつどい」で「ケナフの紙すきコーナーとパネル展示実施 担当小川

## 大気環境部会

部会長 猪股 満智子

活動予定 (12月~1月)

今年で6年になる行事で毎年盛大になり、今年は90名の方が紙すき体験をした。それでも材料不足になり、断る人が沢山出た。

- ・11月17日相模原市中公民館主催「ケナフでハガキを作ろう」担当荒谷  
公民館青少年部が環境講座の一環として開催したもので、地域の子供16人、大人16人参加した。ケナフの茎から紙が出来る事に驚いていた。また自分で作品が出来る事に感動した様子であった。



ケナフの茎をたたいているところ



紙すきをしているところ

## 3. 今後の予定

- 11月24日 相模原市小山公民館環境講座で「ケナフ紙すき実施」
- 12月8日 平塚リサイクルセンターくるりん祭り「ケナフを使ったハガキ作り」
- 12月9日 ケナフ部定例会

- ~~~~~
- 12月6日(木)18時~7日(金)18時  
12月度NO<sub>2</sub>一斉測定(各地域で)
  - 12月15日(土)13時~16時 KERC 実習室  
12月度NO<sub>2</sub>一斉分析

12月9日(日)13時～ かながわ労働プラザ(JR石川町)「地球温暖化防止の集い」に参加  
 主催：神奈川県、かながわ地球環境保全推進会議、神奈川県地球温暖化防止活動推進センター  
 1月22日(火)13:00～16:30  
 1月29日(火)13:00～16:30  
 かながわ県民センター11階NPO推進室  
 両日「かながわコミュニティカレッジ」環境ボランティア養成講座「大気環境」の講師  
 2月9日(土)13:30～16:45 NPOセンター大船 定例部会；12月度NO<sub>2</sub>測定評価、活動総括、次年度に向けて、その他

**活動報告(10月～11月)**

10月20日(土)、21日(日)横浜貿易センターホール 県主催「かながわアジェンダ展2007」にパネル出展  
 『07年6月度NO<sub>2</sub>測定神奈川マップ3種類表示』  
 『化学物質排出量から見た有害性(人の健康・生態系への影響等)の県域、首都圏での比較』  
 当番；立石定己、柳由美子、猪股満智子  
 11月24日(土)13:00時～学習会 KERC学習室  
 『最新の大気環境』講師；相原敬次専門研究員  
 14:30～16:30 KERC実習室  
 部会連絡事項、NO<sub>2</sub>測定準備、ろ紙装填



**水環境部会**

部会長 齊藤 昭一

次回の水部会の会合予定は明年2月2日(土)15時、神奈川県環境科学センター2F会議室にて行います。新年度の出発です万障繰り合わせての参加をお待ちします。

終了後新年度の出発を祝して懇親会を開催します。

- 1、平成20年度活動発表 古谷 敏夫氏
- 2、「川の連続性についての調査」 相模川 齋藤昭一
- 3、平成20年新たな出発 石綿 進一 先生

今年最後の調査は11月18日です。10月の調査はアジェンダ2007の横浜での展示会と重なりましたので中止とし、杉崎氏、古谷氏の2名による単独調査となりました。2回分の活動報告は次号に報告させていただきます。ここで先月28日リーダー養成講座を修了された中から深沢 篤子さん、横井大樹さん、門間 光次さん、田辺 彰さんの4名が入部しました。お喜び申し上げます。ともどもに切磋琢磨して活動してまいりましょう。

先日、環境ボランティア養成講座が開かれる事になり、そのなかに水環境についての講座があります。その実践活動の一環として「川に入ろう」のコーナーがあります。横浜の会場に近いところの川をということでした。そのために横浜在住の村上氏の協力をお願いして1日伊タチ川に入りました、栄区役所に車を置き、其処を中心に4キロほど歩きました。川の両サイドの護岸は綺麗に整備され川底にまでコン

クリートブロックが敷かれていました。真鯉、緋鯉も泳いでいます、川の水もゆったりと流れています、一見見た目には何の変哲も無い普通の川の状態に見えます。しかし川に入り調べてみて驚きました。「何も居ないのです」

普通の川と呼ばれる状態は・・・自分が思っている川は・・・と遥かに遠いものでした。川底の石を一つかえせば、そこにはトビケラ、カワゲラ、カゲロウ、その他の水生生物が必ず居るものでした。区役所を中心に上下3キロはまったくその姿を見る事はそのときは出来ませんでした。ただシマイシビルは見ました。川底の石は茶褐色のコケにつつまれたようなものばかりでした。清流の中に見る緑色をしたプランクトンを沢山ふくんだコケとは雲泥の汚さでした。栄小学校の上流公園下まで上り、数人の子供達が自然の川底の状態のところどころでヨシノボリの稚魚を、自分がヌマエビを一匹見る事ができました。・・・30年前とあまりにも川の環境状態が変化しているには驚きました。自分が始めて川の環境状態との取り組みを始めたのが、伊タチ川、柏尾川で、戸塚区がまだ分割される前でした。時代とともに川も変わりました。この状態が現実なのです。その後柏尾川、鶴見川ほかいくつかの川を見てまいりましたが、横浜の川はみな同じような状態に見えました。……………如何して行けば良いのでしょうか？……………



**自然環境部会**

部会長 土屋 俊幸

- ・活動予定
- 今後の活動は現時点では未定です。

・活動報告  
 「アジェンダの日2007」(10月20-21日)に、市町村ごとの緑率のポスター及び親子で楽しむ環境展でも出展した神奈川の立体地図を展示しました。



各市町村の緑地率(S47年)



各市町村の緑地率(H17年)



## グリーン部会

部会長 杉山 陽絵

### <今後の活動予定>

- ・12月 ミーティング  
(実施日はお問い合わせください)
- ・1月 港南区消費生活推進員講座実施予定
- ・2月19日 コミュニティーカレッジ講座のうち  
「グリーン購入」の講座を担当

### <活動報告>

- ・10月6日 環境学習指導者コース講座の一コマ  
「環境学習プログラムを体験！」講師
- ・10月16日 ミーティング  
大船小学校授業内容について
- ・10月24日、11月8日  
鎌倉市立大船小学校5年生、6年生にグリーン購入に関する授業実施

今回は、事前に学校から西友大船店へ行っていただき、販売されている食べ物の産地や包装の仕方についての調査と、お店での環境の取り組みについてお店の方から話を伺うという事前学習を実施していただき、その学習をもとにグリーン部会が授業を行いました。子どもたちからは、

- ・こんなに私たちのできるエコがあったんだなと思った。これからはやんなきゃなあと思った。
- ・ちょっとずつ地球が良くなる方法がわかった。
- ・温暖化をなくそうとしていた人がいたことがうれしかった。
- ・まだ地球温暖化が止められるということがうれしかった。
- ・何をすれば地球にやさしいのか、できることをもっと知りたい！

・この頃エコのことなんかどうでもいいやと思っていたけど、エコで地球を救いたいと思った。

などの感想も出され、環境の問題を自分のこととして受け止め、考えるきっかけを与えることができたことをうれしく思っています。

今回は、担当の西尾先生が事前に地球温暖化のビデオを子どもたちに見せるなど、積極的に授業に関わって下さったおかげで、子どもたちの反応はとてもよいものでした。さらに子どもたちの理解や行動が深まるよう、今回の授業を活かした学習展開を学校側に期待したいと思います。

今回の授業について大船小学校の西尾先生よりコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

「環境学習リーダー会の方たちの出前授業について」

鎌倉市立大船小学校 西尾 治余

教員として子どもたちと接する中で、子どもたちの未来のために何かをしたいと、常々考えてきました。

昨年度、前任の学校において食の安全について学習していた時、たまたま校区内で『地球環境学習 食べ物から考えるグリーン購入「食べ物たんけん隊！」』という学習会(鎌倉市七里ガ浜自治会 子供会、グリーン部会の共催で実施)があり、その内容に共感を覚えました。そして今年度、家庭科の専任教員となり、生活について学習を進めていくうち、環境とのかかわりを深めていくこととなりました。子どもたちは、環境、特に地球温暖化の問題について関心があり、知識としては持っているのですが、自分たちの身近な問題だという認識は、まだまだ弱いものでした。そこで、神奈川県環境学習リーダー

会のみなさんと西友大船店のご協力を得て、買い物と環境教育についての授業を行いました。

西友で、野菜の産地や包装について調査をした後、それらを地図上に書き写し、野菜がどこから来たのかを視覚的に表しました。自分たちが普段食べている野菜が食卓に届くまでの距離に、驚く子どもたち。また、楽しい紙芝居やクイズを通じて、食べ物には旬があり、その時期に食べることが一番美味しく、エネルギーがかからないことも知りました。それらのことを通じて、子どもたち一人ひとりが環境をよくするためにできる具体的な方法を考えることができました。マイバックを持つことや、バラ売りのものを買うなど、すぐにできる事から始めようという意見があったり、フードマイレージから地産地消という考え方が出たりしました。

今回の学習で、子どもたちの環境への意識がより高まったことを感じ、うれしく思いました。

## 会員の広場

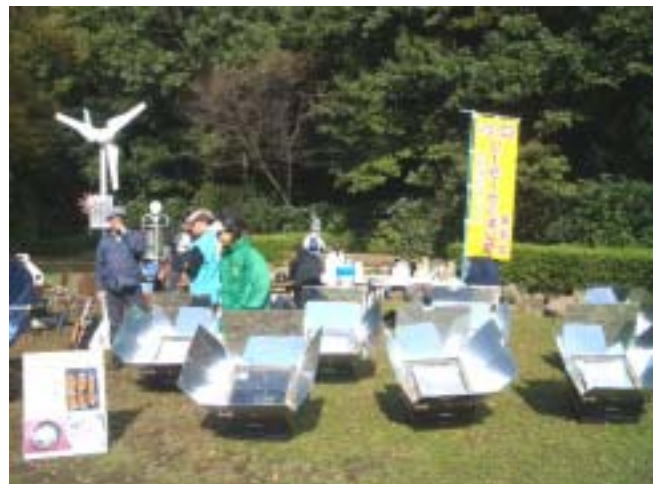
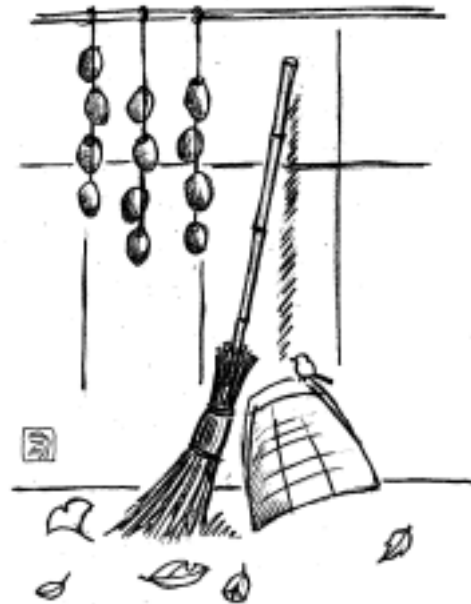
### 「太陽と遊ぼう！」報告と、「市民共同おひさま発電所」紹介

山下 博子(川崎市)

私は、かわさき地球温暖化対策推進協議会のソーラーチームで自然エネルギー普及の活動をしています。2007年11月3日、県立東高根森林公園で、自然エネルギー体験イベント「太陽と遊ぼう！」を開催しました。今年で7回目、「継続は力なり」で、メンバーの皆さん、協力団体の皆さんの力が結集されて、充実したイベントができたと思います。

太陽光発電、ソーラークッカー、風力発電、水車、手回し発電、燃料電池実験などを展示、エコ紙芝居「地球がお熱だ！」などを上演しました。特に今年のソーラークッキングは、サンオープン8台、おやぴか2台、きらぴか2台！。これだけのクッカーが集まったのは初めてです。パンを焼いたり、赤飯を炊いたり、太陽の力で美味しいご飯を頂きました。参加してくれた方々のアンケートには、自然エネルギーを実感したこと、地球を守るために自分のことをしていきたいなどの感想があり、うれしく思います。

課題は広報、いかに多くの人に参加してもらうかです。昼過ぎには太陽が顔を出して、気持ちのよい青空の中で開催することができましたが、午前中が



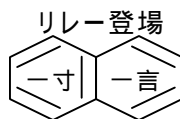
クッカーと風車

曇りで公園を訪れる人が多くはなく、太陽が待ち遠しかった。天気予報がばっちり当たったことがこんなに恨めしかったことはありません。しかし、これが自然エネルギーです。

今年協議会では、NPO 法人アクト川崎と協力して、川崎では初めての「市民共同おひさま発電所」事業を始めました。川崎市国際交流センターに約7kWの太陽光発電を、市民の皆さんの寄付金と、GIAC(財団法人広域関東圏産業活性化センター)のグリーン電力基金の助成金によって設置する計画です。市民の皆さんの協力が太陽光発電所となって温暖化防止につながります。設置後はここを普及啓発の活動拠点として、見学会や勉強会などを実施する予定です。国際交流センターのある地域は、140kWの太陽光発電を設置した元住吉駅や、子供たちの発案で

太陽光発電を設置した井田小学校、「1店1エコ運動」に取り組むモトスミ・プレーメン通り商店街などがあるエコ先進地域です。地域の皆さんと協力して「市民共同おひさま発電所」も大きく育てていき

たいと思います。多くの皆さんのご協力・ご寄付を募っています。ご関心のある方はアクト川崎（TEL：044-233-0158、メール：act.kawasaki@gmail.com）までお問い合わせください。



## 環境の研究について

土屋 俊幸（八王子市）

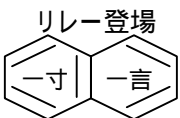
私、事務局兼自然環境部会に所属している土屋と申します。首都大学東京（旧東京都立大学）の大学院で環境の研究をしながら、K・リーダー会にも参加しております。

現在、地理学という分野で、「酒匂川」をフィールドとし、環境保全に貢献できるような研究を目指しています。研究の一部を紹介すると、酒匂川流域の水質は大部分でここ40年ほど改善傾向にあります。しかし、流域住民に対するアンケート調査によると、40年前に比べ汚くなったという回答が多くを占め、化学的な測定値と住民の意識の間には大きな

違いが現れました。これは、何（誰）を基準に評価するかによって、環境の評価は変わってくるということで、単に1つの視点からの環境保全活動ではないと言えます。

K・リーダー会は人材が豊富であり、様々な視点・技術を持った人がいます。環境活動の大先輩である皆さまから多くのことを学び、また学問としても多くを学び、活動面、学術面の両面から環境保全を行っていきけるようがんばっていきたく思います。

今回は安丸様をお願いいたします。



## 中小企業の環境マネジメントシステム

上野 一郎（伊勢原市）

昨年、神奈川県環境学習リーダー会に入会致しました新米です。定年退職後、中小企業の環境マネジメントシステム構築・運用・認証取得のお手伝いをしています。

地球環境問題が厳しさを増している現在、「環境マネジメントシステム」構築・運用は地球環境問題を解決する有効な手段と考えられており、現在日本では、以下のような幾つかのシステムがあります。

1. ISO14001（国際規格）
2. エコアクション21（環境省が中心になり策定）
3. エコステージ
4. KES（京都市）に代表される地域版で10システム以上存在

ISO14001以外は、「ISO14001は費用が高く、専門知識が必要だから中小企業には不向きだ」という理由で策定されてきています。確かに現在は、ISO14001の認証取得費用は高い

と思います。しかし、専門知識が必要であるということには必ずしも賛成できません。他の方式でも、それなりの効果を上げようと思うと、同じような知識・力量が必要だと思われまので。

現在のようなグローバル化時代に、費用が高い、専門知識が必要ということで、ローカルな日本だけでしか通用しないシステムを進めることには、疑問を感じています。ISO14001以外の方式で安くなるならば、ISO14001でも安くなるはずだと思っています。日本独自の規格を幾つも作るよりも、国際規格であるISO14001を中小企業でも構築・認証取得できるように工夫すべきではないかと思ひます。

中小企業が環境マネジメントシステム構築・認証取得する場合にかかる費用には、コンサルティング費用、審査登録費用と企業の人件費等があります。コンサルティング費用は、ボランティアでコンサルティングをする人はいますので安くなります。現実に今年から横浜市が始めた「中小企業のISO14001認証取得支援事業」では、横浜市が募集し養成した「環境ISO市民コンサルタント」に支払う費用は、エコアクション21でコンサルタントに払う標準費用よりも低いです。それでも何人もの人が「環境ISO市民コンサルタント」に応募し、登録

しています。

審査登録費用も大分安くなってきましたが(審査機関により、2倍ほどの開きがあり、安いところではエコステージぐらいの価格)まだ確かに高いです。しかし、審査も NPO 法人等の組織が実施すれば、

## 掲示板

### 第14回・市民環境活動報告会 開催のお知らせ

日時：2月17日(日)10～16時

会場：かながわ県民センターホール

今年度も、県温暖化防止活動推進員や外部環境活動グループを含め6つの口頭発表とポスターセッションによる活動報告がほぼ決定。基調講演には「(仮)地球規模の水危機」をテーマに東京大学生産技術研究所、沖大幹教授に語っていただく予定となりました。お誘いあわせの上、ご参加ください。(詳細は次号)

なお、当会の NPO 法人格取得により、次年度からは運営方式の移行、模索となります。ご意見等お寄せ願います。

実行委員長 猪股 満智子

### 事務局からのお願い

会員の皆様で、住所等、連絡先が変更になった方は、すみやかに代表理事 吉田榮一までご連絡願います。

〒233-0012 横浜市港南区上永谷 3-7-2

E-mail : ey-yoshida@c3-net.ne.jp

FAX : 045-844-9622

いつも季節に合わせて、すてきなカットのイラストを描いてくださっているのは、小田原市在住の米山有美さんです。



他の方式と遜色ない価格になるはずだと思っています。神奈川県環境学習リーダー会でこのようなことは考えられないのでしょうか。

次は、上田恵一さんをお願いします。

### 広報部から会報発行について

会報編集・発行は会員の皆様のご協力により成り立っています。投稿、編集、発行へのご協力をお願いします。会報発行作業は通常、偶数月最初の週末、土曜日か日曜日の午前中に横浜駅西口、かながわ県民センターで行っています。参加可能な方は広報部(鎌田)までご連絡ください。

### 編集後記

会報前号(58号)に、夏の台風の影響で1ヶ月以上も濁った川となったため、鮎が消えてしまったということを書きました。東京都と神奈川県境を流れる多摩川が、かつて家庭排水が流れ込んで堰は泡だらけだったのも過去の出来事、下水道整備のおかげできれいになりましたが、温暖化の影響なのかどうか、大きな台風が大雨を降らした爪あとは結構長引きました。多摩川から消えた鮎はどこに行ったのか心配でしたが、川崎市を流れる三面張りのあまりきれいとはいえない支流にたくさんの鮎が出現したというニュースがありました。仕方なく、鮎たちは少しでもきれいな支流に逃げ込んだようです。このニュースを喜んでいいのか、悲しんでいいのか、やはり複雑な心境です。

K・リーダー会は、NPO 法人として再出発をしましたが、今後ますます、会員の皆様一人一人の叡智が活かされることを切望しています。

広報部 長村 吉洋

発行人：特定非営利活動法人

神奈川県環境学習リーダー会

代表理事 吉田 榮一

編集人：広報部長 鎌田 裕二

TEL/FAX 046-272-7021

発行日：2007年12月2日

ホームページ：

[http://members.at.infoseek.co.jp/k\\_leader/](http://members.at.infoseek.co.jp/k_leader/)